



●大神山神社神門(逆門・後向き門)
よく見ると、扉が開かないようにするための門(かんぬき)が、内側ではなく外側についている「後向き門」。もともと大山寺本坊西楽院の表門としてありましたが、1875年、寺から神社にそのままの向きで転移されたものです。

●大山寺宝物館 霊宝閣
大山寺の貴重な宝物が収蔵され、白鳳期の観世音菩薩像、鉄製厨子や銅造十一面観音立像、鎌倉時代につくられた梵鐘などの仏教美術や、開山1300年に合わせて製作された、日本刀「名物童子切安綱」(国宝)を模した記念刀を見ることが出来ます。
開館時間 / 9:00~16:00(最終入場)
開館期間 / 4~11月
料金 / 大人300円
(大山寺本堂参拝志納金を含む)
問合せ先 / 0859-52-2158(大山寺)



たいまつ行列(6月第1土曜日)

●だいせんホワイトリゾート
西日本随一のスケールを誇り、冬は多くのスキーヤーやホーダーで賑わいます。夏季は広い草原が開放的で、上に行くほど眺望が素晴らしくなります。時間があればぜひ散策してみてください!!
0859-52-2315

■豪円僧正と米子城にまつわる伝説
徳川家康より三千石の寺領を約束されていた大山寺領に、米子城主が「検地」を行ったことに怒った豪円僧正が、「自分を葬るなら米子城を臨む場所に。そうすれば必ずや城の没落を見せよう」と遺言し、埋葬の3年後に米子城主中村一忠が20歳の若さで頓死し、米子城主中村家が断絶となった、という伝説が残されています。

●大山スポーツ公園
大山国体広場
大山総合体育館
大山運動広場



●末社下山神社
元徳2年(1330年)に建てられた「下山善神」が起源。現在の社殿は、石州津和野の領主亀井隠岐守矩貴公が文化2年(1805)年に再建したもので、八棟権現造の複雑な屋根構造を持ち、とても華麗で美しい造りを誇っています。

●大神山神社奥宮
社殿は全国最大級の壮大な権現造りで国の重要文化財。幣殿にある白檀の漆塗りは日本一の規模を誇って美しく、拝殿の格天井の彩色画も見事。ほか西日本最大級の神輿もあります。元々は僧が修験のために大山に登り、その道場として簡単な遷拜所を設けるようになったのが始まり。大神山神社本社は米子1.0の傍、米子市尾高にあります。

●日本一長い 石畳の参道
大神山神社へと続く約700mにわたって自然石を敷きつめた、日本一長い石畳の参道。杉木立の両側には中門院派の僧坊跡が埋もれており、江戸中期の「吉持地蔵」や博労座より移築された銅鳥居など、往時を偲びながらの散策が楽しめます。



石畳の参道

●豪円山キャンプ場 (7・8月のみ)
高校生以下を対象とした教育キャンプ場。貸テント、薪の販売、温水シャワー(管理棟内)、コインランドリーも完備しています。
0859-52-2165 (財)自然公園財団

●だいせんホワイトリゾート サービスセンター
このあたり 星空を見る絶景ポイント
●大山座主の世代墓

●大山ナショナルパークセンター
大山の玄関口に位置し、登山・レジャー・アクティビティなど、大山を楽しむための拠点施設。デジタルサイネージ等を活用した国立公園の魅力紹介や登山情報の案内、シャワー室、コインロッカーなど、休憩・登山基地機能を備えています。
開館時間 / 8:00~18:30(年中無休、入場無料)
0859-52-2165 (財)自然公園財団

●豪円山 892m
山頂より大山北壁、日本海、弓ヶ浜、中海など360度の大パノラマが楽しめます。元々は「呼瀧山」と呼ばれ、かつて北側斜面に滝があったその瀑音が山野にこだましたことに由来。「豪円山」の名となったのは江戸時代とまでなっており、大山寺中興の祖である豪円僧正の名に因み、山頂には豪円地蔵がまつられています。

●大山自然歴史館
大山についての予備知識ゲットに欠かせないポイント。館内では写真パネルや映像、標本などを織り交ぜ、大山形成の過程、山岳信仰の歴史、ブナや野鳥など生息する動植物など、大山に関わる様々な分野を楽しく、わかりやすく紹介しています。
開館時間 / 9:00~17:00 (夏季は18:30まで) ●入館無料
0859-52-2327

●博労座(はくろうざ)
「博労」とは牛馬の売買や仲介を仕事とする人のこと。約300年前、大山の祭日を期して開かれた市を起源とし、「日本三大牛馬市」のひとつとしてあった牛馬市の会場で、今はバスの停留所、一般駐車場、イベント会場となっています。平成28年4月25日、「地蔵信仰が育んだ日本最大の大山牛馬市」が日本遺産に認定されました。



金門

●大山寺阿彌陀堂
室町末期の天文21年(1552年)に再建されたといわれる建造物。本尊は1131年に大仏師良円によって造営されたと言われる丈六(2.79メートル)の木造阿彌陀如来で、両脇には観音と勢至の両菩薩も安置され、建物、仏像とも国の重要文化財。堂内拝観は要予約
拝観料 / (30人以下1組)3,000円
座禅体験も可能(要相談)
0859-52-2158(大山寺)

●三輪平太の墓
約二百年前、大山寺本殿再建の際、地元の大工の恨みを受けて、その完成を見ずにこの地で自害したと伝えられる京都の宮大工の棟梁、三輪平太が祀られています。

●石の大鳥居
大山寺にある三つの鳥居のうちの一つで、岡山、日野方面からの大山道、参道入口によって造営されたと言われる丈六(2.79メートル)の木造阿彌陀如来で、両脇には観音と勢至の両菩薩も安置され、建物、仏像とも国の重要文化財。堂内拝観は要予約
拝観料 / (30人以下1組)3,000円
座禅体験も可能(要相談)
0859-52-2158(大山寺)



石の大鳥居

●南光河原 (なんこうがわら)
大山寺隆盛の頃、南光院谷派僧坊がありましたが、金門を切り開いて僧坊は両岸に移転し、河原となったとの言い伝えも残されています。

●弘化の大地蔵 (こうげのだいじそう)
大山寺に現存する三体の大きな「立像石仏地蔵」の一つ。高さ2.4mで南無地蔵大菩薩と彫り込まれており、作は江戸末期と伝えられています。光背は「舟形光」で、重ねた手の上に宝珠を載せ「どんな願いでもかなえましょう」と参拝者を見ながら立っている。

●蓮浄院跡(れんじょういんあと)
大山寺の支院の一つですが、長年の風雪で荒廃が進み倒壊し、いまは跡地が残るだけ。かつて文豪・志賀直哉が滞在し、長編小説「暗夜行路」の終章はこの時の体験をもとに書かれたと言われています。

●下山キャンプ場(7・8月のみ)
約10haの広さを誇り約600のフリーサイトがあります。車椅子対応のトイレやスロープなどバリアフリーにも配慮。登山も兼ねてキャンプを楽しみ、周辺での自然観察も満喫できます。
0859-52-2165 (財)自然公園財団



大山北壁

大山ぶらりまつふ
Sugihara
©chikimirai

🅓は、冬期は有料あるいは閉鎖となります。
🅑=ビューポイント

至大山1.C 至米子1.C